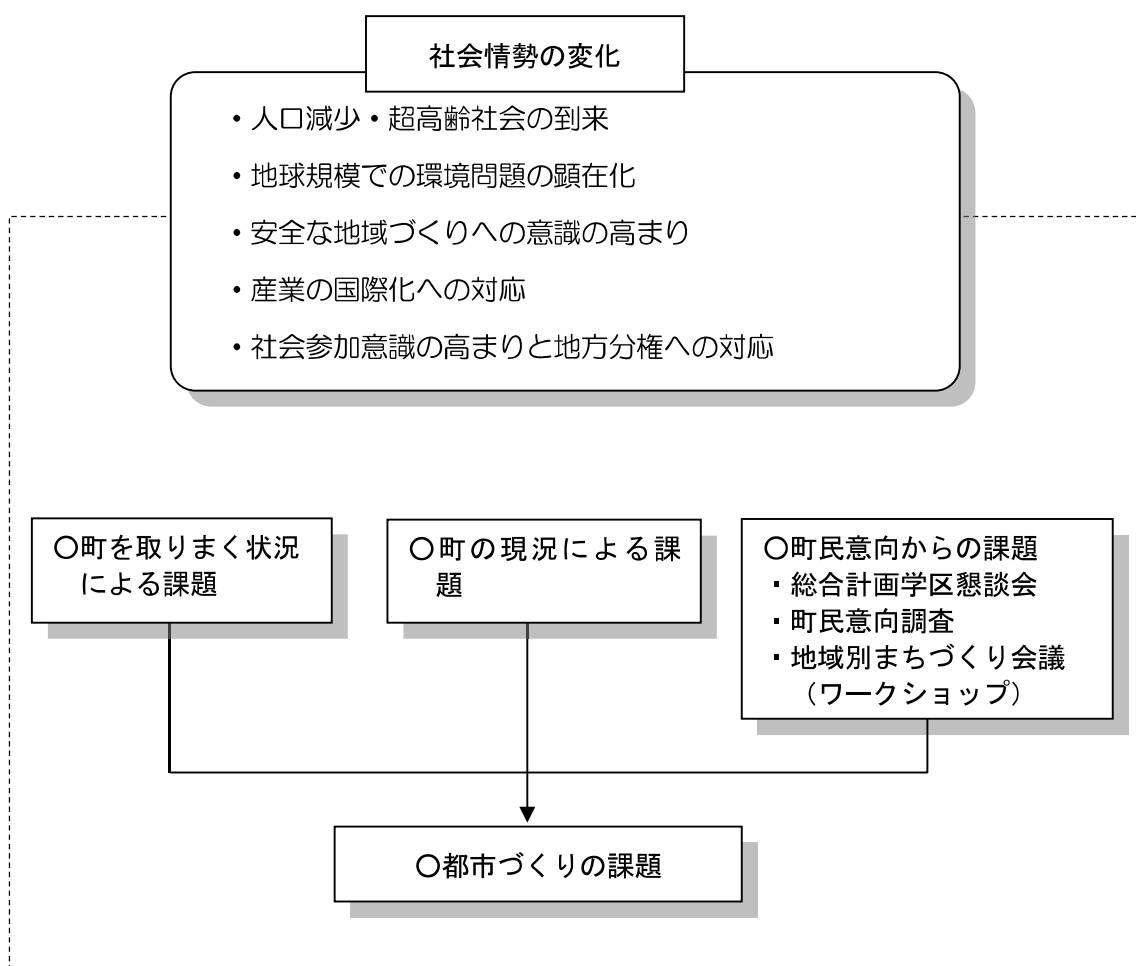


第1章 課題の整理

幸田町を取りまく状況、幸田町の現況、町民意向の整理結果に基づき、将来の都市づくりに関する課題を総合的に整理します。

1-1 課題整理の流れ

幸田町を取りまく状況で整理した以下のような社会情勢の変化を踏まえ、上位・関連計画等からの「幸田町を取りまく状況からみた課題」や「幸田町の現況からの課題」「町民意向からの課題」等により、「都市づくりの課題」を整理します。



■課題整理の流れ

(1) 町を取りまわりの状況による課題

項目	内容
〇人口動向等を踏まえた住居系市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> 人口増加を踏まえると、利便性の高い交通結節点周辺などにおける新たな住宅地の形成が必要である。
〇広域交通へのアクセスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 名豊道路、各浜道路、名古屋三河道路などの計画路線の早期整備と新東名高速道路の岡崎東インターチェンジへのアクセスの強化が必要である。
〇交通結節点機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点の改善などにより、環境にやさしく、誰もが自由に移動することができる持続可能な交通体系の構築が必要である。
〇広域的な要請としての産業振興	<ul style="list-style-type: none"> 新たな立地需要に処えられるような産業用地の確保が必要である。
〇自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 河川などにより広域的なつながりが確保された自然的環境インフラネットワークの形成が必要である。
〇防災性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 漏水しやすい地区での市街化の抑制や土砂災害の防止が必要である。

(2) 町の状況による課題

項目	内容
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口増加に対応した計画的な面的整備事業の推進、人口減少社会への対応 高齢化社会への積極的な取り組み 周辺市町との連携強化
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 三河湾国定公園の積極的な保全 コンパクトな市街地形成 集落環境の整備 優良農地の保全、生産基盤の整備 森林の機能の向上
産業	<ul style="list-style-type: none"> イオンモール周辺等の工業地整備 住工混在の解消 商業機能の強化 幹線道路沿道の適正な規制・誘導 3駅を中心とした商業集積
観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光・レクリエーション施設の整備 (御名豊道路の4車線化・整備促進) 道の駅の有効活用 都市計画道路の未整備区間の整備 歩道等の整備推進
交通	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通 鉄道輸送の利便性向上 バス利用性の向上
市街化動向	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業や地区計画の促進 人口増加や産業需要にあわせた計画的な市街地整備
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 身近な公園整備 総合公園の整備の検討 三河湾国定公園の保全・活用
河川	<ul style="list-style-type: none"> 広田川をはじめ河川の早期改修整備 河川の環境整備の促進 ため池や排水路の整備 遊水地の整備及び緑地機能の併設 上下水道施設の老朽化・耐震性の更新や補強による安定した水道水の供給 下水道整備の推進
教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境に対応した施設整備
公共	<ul style="list-style-type: none"> 人にやさしい施設づくり
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理場等の整備・拡充 し尿処理システムの維持 共同墓地の環境整備や墓園検討
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全に配慮 二酸化炭素削減など鉄道利用の促進 ごみの減量やリサイクル
景観	<ul style="list-style-type: none"> 山々、田園景観の保全 まちの顔となる景観の創出 神社仏閣の歴史的景観の保全 公共施設の子ザイン性配慮 緑化推進、幹線道路景観の向上 緑のネットワーク形成
防災	<ul style="list-style-type: none"> 河川の整備や遊水地の設置・土砂災害の防止のための森林保全 建物等の耐震化促進や避難路等沿道の耐震化促進

(3) 町民意向からの課題

項目	内容
〇第21回幸田町住民意識調査(平成30年7月)	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全 住環境、就労環境の整ったまちづくり
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 買得環境の維持・向上
産業	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の整備 住宅の整備 河川・ため池・山の整備 道路の整備 防災対策の強化
基礎整備(重点課題)	<ul style="list-style-type: none"> バスや鉄道等の公共交通対策 自然環境を生かした公園整備 自然環境や生態系に配慮した河川整備 医療・福祉施設のサービスの充実 総合病院や福祉施設需要への対応
交通	<ul style="list-style-type: none"> 緑や川など自然環境の保全
公園	<ul style="list-style-type: none"> ごみ問題への対応
河川	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策の強化を望む声が多い 治安の維持など、安心して暮らせるまちづくり
施設	<ul style="list-style-type: none"> 医療体制の充実 子どもの居場所の充実 高齢者福祉の充実 障がい者福祉の充実 情報の発信と管理 効率的で健全な行政 公害対策の推進
環境	<ul style="list-style-type: none"> 緑や川などの自然環境が豊か 買得環境がよい 治安がよい 公園や緑地が多い 交通の便が悪い 医療・福祉サービスが不足している 買い物物が不便 災害が弱い 文化やスポーツにふれる機会が少ない
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 一部政定に関する地元説明会(令和元年12月) 企業誘致と併せた道路や調整池等の基礎整備 緑豊かな自然環境・景観との調和に配慮した整備 農業等も取り入れた新産業の創出 周辺住環境への配慮
その他	<ul style="list-style-type: none"> 幸田町のよいところ 幸田町のわるいところ

(4) 都市づくりの課題

項目	内容
〇都市構造の確立	<ul style="list-style-type: none"> 駅を中心としたコンパクトな市街地形成 交通結節点機能の強化 広域交通へのアクセスの強化
〇快適な居住環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 人口増加に対応する計画的な都市基盤の整備 人口増減の地味開差への対応、高齢化への対応 集落環境の整備 住工混在の解消 地域高規格道路や都市計画道路、生活道路の整備や歩道等の整備 鉄道輸送の利便性、バスの利便性の向上 土地区画整理事業や地区計画の推進 身近な公園緑地の整備や市街地の緑化推進、緑のネットワークの形成 下水道の早期整備、水質の改善 教育環境に対応した施設整備 人にやさしい施設づくり
〇産業機能の育成	<ul style="list-style-type: none"> 広域からの要請でもある産業振興 イオンモール周辺等における工業地整備 相見駅、幸田駅、三ヶ根駅周辺の商業機能の強化 幹線道路沿道の適正な規制・誘導 多様化するニーズに対応する観光振興 森林の機能の向上 道の駅の有効活用 農業生産基盤の整備
〇良好な都市環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 良好な景観保全にもつながら自然環境の保全 まちの顔となる景観の創出 社寺など歴史的景観の保全 三河湾国定公園等の森林保全 緑化推進、幹線道路景観の向上 緑のネットワーク形成 市街地周辺の優良農地の保全 遊水地の緑地機能の併設 無秩序な開発の防止 新エネルギーを活かしたまちづくり 二酸化炭素削減など鉄道利用の促進 ごみ処理場等の整備・拡充 し尿処理システムの維持 共同墓地の環境整備や墓園計画検討
〇安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 水害等に対応するための河川改修の促進 ため池や排水路の整備 山地地域等における土砂災害の防止 耐震化の促進など地震への対応 すべての人にやさしい公共公益施設の整備 医療施設の整備 防犯灯の整備など安全、安心機能の強化

